



ぬくもり

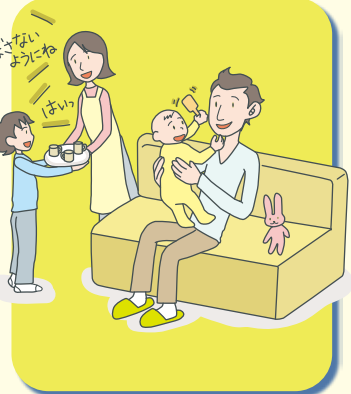
[平成25年6月15日発行]

輝く人とまち 人 つながる可児 — 「参画」と「協働」による「市民中心のまちづくり」

本年度フレーズ なご 生きあい 和みあってー、気づきあいの心を！

気づきあいのこそ希望の灯 ともしび

家族



・ありがとう 言える家族に
光かがやく

地域



・近隣の友好あって
人生楽しい

企業・学校



・上司の気づきいで やる気、売上げ倍々
・「どうしたの」の一言で勇気100倍



特別寄稿

「人権啓発人口1万人」突破に感謝

可児市・市民部長 片桐厚司

(市)人権啓発センターでは、「市民が人間らしく幸せに生きていくための権利」である人権の多くの啓発事業を展開していただいております。

平成24年度の事業実績において、啓発人口が1万人を突破したとの報告をいただき、心より敬意と感謝を表すものであります。

この啓発人口を増やす活動は、6年前から事業展開をする上で、人権の心がどのようにしたらよ市民の皆様へご理解いただけるかを考えながら、可児市の約10万人の1割である1万人を年間目標として「事業の内容・取り組みを決め、きめ細かな活動に汗を流した結果の数です。

多くのスタッフが居れば簡単かもしれませんが、10数名ほどで完遂した努力いかばかりかと思えます。また、こうした成果は、ご参加していただいた市民のご支援・協力の賜ものであります。今後参加し易く実のある事業の展開をされ、更なる奮闘と精進をお祈り申し上げます。市としても支援させていただきます。

目次

- 平成25年度の活動と24年度報告のあらまし 2
- 特集「企業での人権」/パワーハラスメントについて 3
- コーナー 4
 - 標語・300字小説募集
 - ある日その時
 - 可児ぬくもりネットだより
 - ぬくもりまゆちゃん(12)
 - 他

平成25年度の活動と24年度報告のあらまし

目標 啓発人口 7,000名／年

(本センターの活動に関わり合った人数)

重点

「生きあい^{なご}和みあつての育み」・
「気づきあいの心」を!
(地域・企業と子どもの人権教育の充実)

～大人たちのぬくもりある自覚から～
未来ある子どもの育みを!!

理念 人は差異・多様ゆえに認め、学び合う人間主義で!

人権相談

コーディネートします!

地域ぬくもりの集い

公民館で実施

ぬくもり講演会

(平成24年度)講師「水谷修氏」

学校・企業啓発

・人権教育
・同和教育

人権本巡回制度
(ぬくもりボックス・フロー)

- ぬくもり本(人権本)を巡回
- 小学校2コース
- 児童用/教師用:同時
- 1ヶ月毎・巡回
- スタート:5月～

読者しおり差上げます。

ぬくもり標語・300字小説募集

市役所ロビー掲示

地域・家庭啓発

家庭教育学級等

H24年度活動報告

1万人
「啓発運動達成」
啓発人口実績
10,212名
(目標6,500名)

この活動は、皆様と共にあります!

機関紙発行(ぬくもり)
(全戸配布・年三回)

人権4コマまんが「ぬくもりまゆちゃん」入り

街頭啓発活動

市民対話
(市長等が率先)

研修会/リーダー会等

(年4回位)
役員・推進員/研修・運営

「センターだより」発行(随時)

(第1～2回)ぬくもり教室

・旭小学校 (済)
・今渡北小学校 (済)
児童・先生約500人

ソウ「ゆめ花」書
「人権」をツールにして

〈市原ぞうの国〉ソウの「ゆめ花」書の「勇気」を頂く

(平成25年度)小学校巡回
セミナー(ぬくもり教室)
として活用する。
(雷田市長より本センター会長へ)

ホームページ

- 文字大きさ大・中・小変更可
- ぬくもり日記
- 行事案内・募集
- 今週のビタミン
- センター紹介
- ぬくもり4コマ「マンガ」

継続発信(約週一回編入有)

平成25年度「主事業」案内

～皆さまの「そばにある人権」をめざします!～

まんが
ぬくもり物語
創刊

〈創刊日〉H25年6月1日

両面人権「下敷き」を作成
(本職員にて作画)

公民館啓発活動

〈場所と日程〉
①今渡公民館
5月19日(日)午前中(済)
②桜ヶ丘公民館
11月3日(日)午前中予定

〈配布物等〉
●ぬくもりデザイン
ティッシュ
●ぬくもりカード 他

子どもぬくもり教室

内容

- 絵字を書く有名な「ゆめ花」の書いた字
- 書いている模様の映写
- 「ゆめ花」の着ぐるみを活用他をツールとした人権教育を演出

・対象学年 小学校中学年 (3～4年生)
学年対象 (約100名程度)

・実施校: 2校程度 (抽選)

・所要時間: 40分位

・実施期間: 9月、11月 (予定)

・応募期間: 7月16日(火)まで 本センターへ

ぬくもりの集い (仮称) (可茂ロータリーと共催)

ぬくもり演劇会 無料

決断 命のビザ
(外交官 杉原千蔵)

水澤心吾 一人芝居

日時: H26年2月1日(土) 13:30～
場所: (市)文化創造センター(小劇場)
入場料: 無料
募集期間: H25年12月頃
(本センター機関紙10月号・広報かに11/15号掲載)

特集

「企業での人権」①

～パワーハラスメント(パワハラ)は、人権侵害です～

最近、働く人の相談が多くなっております。本年度は、企業等での人権を考えることとしました。(編集者:著)

(意義)



『〈企業は人なり〉人がいてこそ成り立ちます。また発展は、働く人の意欲が第一です。その意欲をそぐ最悪の行為がパワハラです』

★パワハラとは、職権などの権力を盾にした、「いやがらせ」や「いじめ」をする下劣行為です。

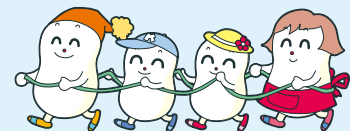
(提言1)パワハラの原因と思われること

- ①企業は、利潤追求を旨として社会の繁栄を支えています。
- ②仕事の多くは、一人ではまかないきれないもの。よって従業員を雇い組織化したのが企業です。組織が何かを為すのではなくそこにいる人により仕事がなされるのです。
- ③人は、生まれつき顔形が違うように、考え・生き方(思慮・行動・環境)が違い能力も違います。それは個性だから理解することです。
- ④ゆえに、企業の繁栄は、人が勇んでこそ知識・智恵がまして、大を為すものですが、社是・方針があっても個性の違いから思いの伝わりは、千差万別で難しいものです。
- ⑤組織が大きくなれば、伝わりは更に違ってきます。上意下達になり易く、ますます本意は、伝わりにくくなります。
- ⑥ノルマは、主に中間管理者の負担となり、期限成果を問われても、すべてうまくいくとは限りません。
- ⑦やがてあせりとなり、感情的となりイライラが部下へのパワハラとなっていきます。
- ⑧どうあろうとも、パワハラは人権侵害なのです。よって経営者の責任でもあるのです。



(提言2)どうしたらパワハラをなくせるのか

- ①人間性を身につけ理解することです — 自分の言う通りにならないのが人間の個性であることを理解する。そのためには、共通の土俵で目標を議論し理解し合う(ディスカッションする)ことです。— 抑えでは出てこない自発能動性を出す秘訣です。— 何でも話し合うこと! 権威権力は捨てることです! そうすると人間の魅力が自然についてきます。
- ②打開の知恵を出せるようにすることです — 知恵のない人・壁にあたっている人は、部下に押し付けて結果だけを問いたずら傾向があります。(先々を見通して現状を開く知識を知恵に変えることを身につけることです)
- ③部下の能力を引き出せる感性を身につけることです — 自分にないものを持っていることを知るべきです。それは何かを考え引き出す能力を持つことです。相手の性格をどう生かすかです。
- ④そのためには大きく包み込んで同じレベルで話合うことが一番です。どうしたらいいか?と聞いてみることです。何も上司が方針を創らなくても良いのです。業績が上がるのが目的です。「みんなで決めてみんなでやる」「何のために」かが大事だからです。



次号(53号)の特集②は、パワハラの実例とその責任を掲載予定。(10月15日発行)

あふロンドンの時



「人権運動(公民権)に命を賭した人たち」のこと

●人権は、「自ら立ち上がり勝ち取るもの」と言われます。今回は、(米)の黒人の人権解放を取り上げました。

●本年は、黒人への人権差別反対の旗手マーティン・ルーサー・キング(キング牧師)のワシントン大行進の有名な演説「私には夢がある」から50周年にあたります。

(その1)黒人公民権運動(バス・ボイコット運動)の始まりについて

1955年12月アラバマ州モンツゴメリーで黒人女性のローザ・パークスさんが、市バスの黒人席に座っていたら、運転手が白人に席を開けると命令した。

パークスさんは「ノー」と言って拒否して、投獄された。(白人席に座ったとの説もある)これに抗議したのが、26歳のキング牧師であった。この運動は66日続いた結果、最高裁が違憲判決を出したのである。

●疲れた魂を疲れた足に託すことをいとわなかった5万人の勝利なのだ！(キング牧師)

(その2)あの有名な、キング牧師の「私には夢がある」演説(16分14秒)について

人種差別反対運動は、1955年6月28日ワシントン大行進」という25万人に及ぶ非暴力行進を實行し、リンカーン記念公園でキング牧師が演説をした。翌年、公民権法が成立。

演説(主言)

●今日明日、困難が待ち受けていようと私も私には夢がある。それはアメリカン・ドリームに根ざした、ひとつの夢なのだ。

●私には夢がある。いつかジョージアの赤土の丘に元奴隷の息子たちと元奴隷所有者の息子たちが一緒に座り、友愛のテーマを囲む日が来るという夢が。

●米が偉大な国であるならば必ず実現の日は来るだろう。すべての自由の鐘が鳴り渡るその時、実現の日を迎え、黒人も白人も共に手をたずみあって、あの黒人霊歌を歌うのだ！やっとなつて自由になつた！やっとなつた！やっとなつて我々は自由になつたのだ！

★だが、演説の5年後の1968年4月4日、テネシー州メンフィスで暗殺される。(39歳)

めぐもりまゆちゃん12

くありがとう、は魔法のことは)

作:多々/画:miho



(本作品は、全て本職員でつくられています)

心響き 可児めぐもりネット だより

(今週のビタミンから)

(本センターホームページ)

自らの役割とは

今週のビタミン

投稿日: 2013年4月17日編

人は顔かたちが違うように、考えや生き方が違います。しかし、それぞれが自分でしかできない使命を持っていると言われます。

人間社会に生まれてきたからには、何か社会での役割があるはず。多くの人が、自ら持っているもののいくつかを世の中のために活用するよう働きかけをすることが「多様性の効力」であります。

人として必要とされるほど嬉しさがこみ上げることはありません。

「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではありません。だから自分自身は必要とされないと感じることです。」フーエル平和賞受賞者: マザーテレサといわれます。

また福沢諭吉は「世の中で一番尊いことは、人のために奉仕して決して恩にさせないことである」ともいわれます。共に同じ地域に住む縁を大切に、平な心で和みあいながら生きていきたいものです。

二滞をなめて大海の塩を知りとは

今週のビタミン

投稿日: 2010年5月29日編

人間、時に応じて、その事象をどう判断して行動するかは、人生において、非常に大事なことだと思います。

鎌倉時代に、正嘉の大地震・ペスト等の疫病の流行、気候の変動による飢饉また、当時の幕府の内乱そして蒙古の襲来等(外国との外交危機)が起ころうとしていました。

その時、当時の幕府政所(まんどころ)に、諫暁書を書きつけたのは、日蓮でした。あの有名な「立正安国論」です。一つの事象を見て、そこに潜む多くの邪悪の本質を見抜く力を、日蓮は二滞をなめて大海の塩を知り」と言い、安国の国と言う字を口の構えに、民を入れ、政所は、民のために尽くすことが大事、その考えがいたらないとときに、多くの災害・障害が起こると喝破しました。

いつの時代でも「ただ今にあり」で、心して本質は何かを見抜ければならないと思います。



募 集 「めぐもり」人権啓発「標語と300字小説」

- テーマ いじめ等に対しての、人としてのめぐもりを感じられる文面と、短小説は会話をいれること(市内在住の人、小中学生(高一、高二)はがきの表に住所・氏名・電話、裏に作品)小説1点、標語2点まで(7月12日~9月20日(消印有効))
- 応募資格
- 応募方法
- 応募期間
- 入賞作品数 標語約30点、小説約7点
- 入賞発表 11月初旬本人通知(小中学生は学校から)
- 作品展示 (入賞) (12月5日~10日) 市役所ロビー等で展示。また機関紙「めぐもり」等に掲載
- その他 *入賞者には、表彰状と図書券を贈呈 *小中学生は全て応募ノ学校から
- お問い合わせ 本センター宛 (本表紙を参照)

編集後記(啓発のひかり)

春から初夏の候、中部中の生徒が育てた「人権の花」が本センターのある玄関で美しく咲いています。国の人権教育の施策でもあります。いつも朝水をかけている管理人の皆様へ感謝です。

「厳寒を耐え忍んで咲く花は中部の花(人権の花)よ」百花繚乱(感謝)

と中部中へ贈りせよというまじらした。「百花繚乱」には、多く咲くもよう、と「つづみ」人材が多く育つ、の意味があります。「桜梅桃李」に生徒が個性豊かに羽ばたくことを祈っての句としました。

本センターでは、永くご活躍いただいた、渡邊礼子、内藤政美、山本枝子、三井氏がご退任され、山田まゆみ、渡邊良文両氏がご就任してくれました。市民の皆様も、本年度もよろしくお願ひします。

(編集者: 川手靖雄)